

平成 29 年度学内研究助成 成果報告書

① 報告者所属・氏名

文学部 国文学科・横井孝

② 事業名

源氏物語古筆切による受容史的研究

③ 事業の目的

源氏物語関連古筆切を通じて、これらを観察・鑑賞し、書誌学的知識を養い変体仮名読解能力を育成するといった観点から、日本の古典文化への理解を深めさせるべく、本学学生への教育および一般社会への啓蒙活動を行う。

源氏物語関連古筆切の収集・研究・データ発信を通じて、研究資料としての古筆切の有効性を弘め、古筆切研究の更なる活性化を促す。

④ 事業実績・研究成果（具体的に）

【古筆切研究の資料収集】

- ・『伝藤原定家筆和歌切』（一軸）：臨川書店
- ・『手鑑 筆陣』（折本一帖）：思文閣出版
- ・古筆切八葉：西田書店

【研究成果】

- ・これらの資料をデジタル化した。
- ・これまで収集してきた古筆切とともに、整理・調査中。それらの成果の一端を⑤に記す。

⑤ 研究成果の発表・活用（学会発表・論文掲載・地域連携・産学連携など）

【古筆切を用いた教育・啓蒙活動】

- ・展覧会「古筆切で楽しむ源氏物語の世界」の開催…

開催期間：10/02～28 日

開催場所：本学渋谷キャンパス内香雪記念資料館展示室

出品内容：約 55 点の古筆切について展示・解説した

来場者数：1133 名

- ・ワークショップ「変体仮名で楽しむ源氏物語の世界」

開催日と場所：10/06（金）本学 7 階 70A

10/27（金）本学 1 階プレゼンテーションルーム

定員各回 30 名・要予約

参加者数：30 名・28 名

なお上記の二つは平成 29 年度実践女子大学公開市民講座「源氏物語のたのしみかた」への協力という形で実施した。

⑥ 今後の展開・継続性について

「源氏物語の古筆切」について、下記の出版準備をしている。

書名：『源氏物語 古筆の世界』（仮題）

出版社：武蔵野書院

編著者：横井孝・田中登・中葉芳子・針本正行・別府節子

刊行予定：2019年5月